

ようこそ

これからも
白象さんと一緒



(上)白象パレードの後で
本堂向拝特設花御堂
の前で子どもも大人も
一緒に記念撮影です

(左)白象パレードのようす
「こんにちは。こちらは円光
寺花まつり白象パレードです」
と地域の皆さんにふれて回り
ます

(4月2日)

第 40 号
浄土真宗本願寺派
円光寺
〒870-0108
大分市三佐3-15-18
TEL097-527-6916
FAX097-527-6949

お念仏の先人のおくりもの

円光寺では毎年四月の第一日曜日に「花まつりの会」をしています。花まつりは仏教を開かれたお釈迦さまのお誕生をお祝いする行事です。

今から二千五百年ほど前に北インドのルンビニーの花園でお釈迦さまがお生まれになったというのが花まつりの由来で、お寺でも花まつりの会の前後二週間、境内をご門徒皆さんが持ち寄ったプラントーのお花でいっぱい飾っていただき、当日は白象を引いてお寺の周辺をパレードします。

十五年前(二〇〇二年)の住職継職法要のご縁に始めました。この白象を作ってくれたのが橋本利男さん(昨年十一月往生)です。建具職人の腕前でコンパクトでかわいいう白象をはじめ人形劇の舞台、盆おどり大会の舞台、伝道掲示板等々、数々の作品を残してくださいました。住職の夢を形にしてください、今日のお寺のご法義繁盛のためには、ぜひお手伝いをしていただきました。

お念仏のご法義を伝えてくれた人がいました。お念仏の先人の尊い志とご苦勞を本当に有難く思います。心から感謝申し上げます。

伝えてくださったご法義を今度は私たちが次の世代に伝えていく番です。今回花御堂を飾るお花を新しく作り直すのに合わせて、仏教壮年会の皆さんが中心になって、いろいろな意見を出し合い工夫して花御堂自体を作り変えてくださいました。

時の過ぎゆくなかに、お寺を支えてくださる人は変わっていきます。何かそのことだけを見ると悲しい寂しいことですが、先人の思いは形となって次代に伝わっていきます。お寺を思う心ひとつに、いよいよ私たちのお寺に、お念仏のいっぱい花咲くお寺になっていきたいと思えます。

コンビニの数だけお寺があるって知ってましたか？

お寺とコンビニ

コンビニは人のいるところにあります。一方お寺はかつて人がいたところにあります。浄土真宗のお寺は里のお寺と違って、人が多く住んでいる所に僧侶門徒有縁の方々の思いを寄せて建てられました。戦後日本の高度経済成長期を経て、人口がお寺の在る農山漁村部から都市部へと大きく移動し、今はお寺の周辺にいるご門徒が少なくなりました。コンビニはお商売ですから、採算が合わない立地では閉店を余儀なくされます。お寺はご門徒によつて経済的に支えられてきましたが、門徒が減ったからといってお寺を閉じることはできません。

学校と教会

西洋の社会では町(村)存立の条件は学校と教会が在るということでした。子どもから大人まで、いつでも住民が集える所、心の依りどころとして、学校と教会は社会の中心でした。日本でもお寺は西洋文化が入ってくる明治時代以前は、学校でもあり公民館でもあり役場でもあり、ずっと以前は病院や福祉

施設の役割もしていました。お寺は人が亡くなってからお世話になるところではなく、まさに生活の中心、人びとの生き

る依りどころがお寺でした。今お寺を取り巻く環境が著しく変化しています。少子高齢化と人口減少で社会の過疎化が一気に進み、お寺の護持が大変難しくなりました。

そして人びとのお寺に対する見方考え方も変わってきました。葬式法事はお寺の仕事と一般に受け入れられてきたことが、葬式法事もお経も要らない、死んでからもお寺の世話になりたくないという人が増えてきました。

お寺が建てられた理由

なぜ先人はお寺を建てたのか。お寺はお念仏の道場であり、地域の中心にあつて遠くからも見

えるお寺の大きな屋根や定時に聞こえるお寺の鐘がそこに暮らす人たちを安心させ勇気づけたこともあつたと思います。移り変わりの激しい世の中にあつて、真実変わらないものに思いを寄せる先人の心意気をみます。

お寺のコンビニ

お寺の最大の売りは安心です。お寺とずっとつながること、命を終わっても無量のいのちの帰依拠をもつことの安心です。お寺をコンビニに重ねて発想の転換です。今あるお寺の再活用と寺を飛び出したご縁づくりです。お互いの顔が見える小さなお念仏の集い(講)を細く長く続けていくこと、地域の集会場

例えば公民館を利用することも一案、そして何よりご門徒皆さんの家の仏間を地域に開かれたご縁の場にする事です。仏さまのご縁です。思いのある人と人がつながって共々に心豊かに安心して生きて往ければいいなと思います。

大分まちなか法話会

布教使 藤井邦麿 師(日出町正善寺様)

岩崎康教 師(弥生町西音寺様)

とき 8月19日(土) 午後1時半〜4時半

ところ 大分市コンパルホール(三〇五会議室)

※お坊さんが仏さまのお話をされます

世々生々

国民が政治に関心を持つことは成熟した民主主義国家のあり方として望ましい◆しかし小泉劇場といわれて以降、政治のワイドショー化が進み、

政策論争ではなくパフォーマンスの政局が目立つ◆安倍一強の政權下、巨大与党が数の力を背景に「決められる政治」を押し進める今の政治状況に閉塞感を覚える人も少なくない。ここは与野党共にしっかりと議論と丁寧な説明を願いたい。これは選挙で選ばれた公人の責務である◆森友問題、加計問題と話題に事欠かないが、問題の根っこに公私混同がある◆公私の区別をちゃんとつけたいと思わぬところで墓穴を掘る。前東京都知事の件然り。傍から見ると、何でこんなに見識の高い人がと、分らないことが多い。権力の座につくと市民感覚が急に薄れて、何でも自分の意のままにできると勘違いしてしまうのだから◆責任ある立場にある人ほど謙虚さが求められる。寺を預かる住職も然り。寺の公益性が社会から問われ、これからは寺も僧侶も選ばれる時代になるといふ。現実の課題にしっかりと向き合い社会に発信していかねば、寺は現実社会から見放される。

お朝事「法話」より

カーネーションのお供え

今日のご和讃です。
「子の母をおもふがごとくにて
衆生仏を憶すれば
現前当来とほからず
如来を拝見うたがはず」

【現代語訳】阿弥陀如来は、衆生を一人子のように思ってください。その如来のお慈悲が衆生に受け容れられ、子が母を思うように、衆生が仏の本願を信じ、お念仏申すとき、現在目の前で、あるいは将来浄土に往生して、遠からず如来を拝見することは疑いがない。(※聖典セミナー『浄土和讃』より)

今日のご和讃は、阿弥陀さまはこの私のことを一人子のように思ってくださいとお慈悲のなかに護り救うというおはたらきをしてくださる仏さまに成ってくださったという、昨日のご和讃のお心を受けて、子どもがお母さんをお供えするように私たちが仏さまの本願を信じお念仏を申すとき、今も将来もいつでもどこでも仏さまの大きなお慈悲に包ま



三佐ぐるり一周早朝ウォーキング
(6月22日午前5時18分、仲村を行く)
お寺に帰り、境内を清掃しお朝事のお勤めに
お参りして、さわやかに1日をはじめます

れてお念仏の日暮しをさせていただけるといってお心です。今日は母の日です。毎年五月の第二日曜日ということ、この日はご法事が多く、たまたまお母さんのご法事のご縁に遇ったときのことです。

お仏壇にお参りしますと、花瓶にカーネーションがお供えされていきました。母の日にはカーネーションを贈るのが定番ですが、いいな!と思いました。命を終えていかれてもいつまでもお母さんはお母さんなんです。お勤めの後のご法話で、先に往かれたお母さんは、人の命を終えて阿弥陀さまの真実のお浄

ご案内

- ◆常例法座
7月14日(金) 10:00~11:30
- ◆子ども会サマースクール
7月31日(月)~8月1日(火)
- ◆初盆会・盆おどり大会
8月12日(土) 19:00~21:00
- ◆全戦没者追悼法要
(平和を願う鐘つき)
8月15日(火) 11:00~12:00
- ◆秋季彼岸会法要
9月22日(金) 11:00~15:00
同 19:30~21:00
9月23日(土) 13:30~15:00
- ◆敬老会
9月28日(木) 11:00~13:00
- ◆常例法座
10月16日(月) 10:00~11:30

“月に一度は
お寺参りしましょう”

※詳しくは『寺通信』でご確認ください。

土に生まれ、今はさとりのかえの仏さまとなつてこの世に還つて来て私たちが護り救うというおはたらきをしてくださっています、とお話させていただきました。
阿弥陀さまは「まかせよ救う」と南無阿弥陀仏の声の仏さまとなつて、生死の迷いの世界に苦悩する私たちを喚び続けられ、いつでもどこでも一緒です。そしてお母さんの仏さまも一緒です。今日のご法事のご縁もそうだし、昨日も一昨日もそうだったし、明日も明後日もこれからずっと、私たちが仕事をしている時も遊んでいる時も、食事をする時も眠っている時でも、私に寄り添い一緒です。今月の掲示伝道のことばは

「母よべばいつも隣にいてくれる安心」と書かせていただきました。

「お母さん」とよぶとき、そこにお母さんがいなくても、いつも隣にいてくれるように安心できる。お母さんの心に遇っているということです。

お母さんを思うとき、この耳に聞こえるぐらいいいですか、お念仏申しましょう。「いつも私が一緒だからね。大丈夫だよ」というお母さんの仏さまに遇つて安心できます。

ご一緒にお念仏申しましょう。(5月14日)

お朝事にお参りしましょう
^ 毎朝6時30分~7時 ^

小学新一年生を祝う会



新一年生2人と一緒に花まつりの会に参加してくれた子どもたち(4月2日)

すいよう学校修了式



毎週水曜日に5人のお友だちがお寺に通ってくれました(3月8日)

手を合わせお念仏申す
へ子ども・若者へ縁づくり

初 参 式



4人の小さなお同行の誕生です
お父さん お母さん おじいちゃん おばあちゃんも一緒によかったネ!!(5月21日)

ご縁づくりを支えて
くださる皆さんです



ご門徒皆さんのお手伝いをいただいて花まつりの準備をしました(3月26日)



仏婦バザーのようす
カレーライス、おにぎり、石垣だんごが超人気ですぐ売り切れます



ほれほれと仏法聴聞
水之江陽子ご講師
(日田市法林寺様)

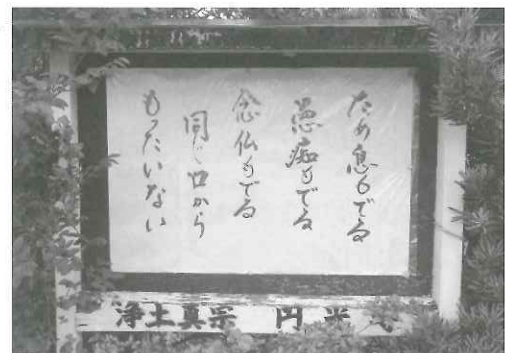


降誕会バザーでにぎわう
円光寺全景
(5月21日)

親鸞聖人降誕会法要

あ と が き

歳をとるほどにふっとため息がでることが多くなった。若い時分のようにテキパキと物事を進めることができなくなった。大事なことは後回しで、今しなければならぬことさえ忘れてしまうこともある。何でどうしてと愚痴がでる、腹が立つ。
そんな同じ口からお念仏がでてください。私の切ないため息を、自分勝手な愚痴をそのまま聞いてくださり「あなたのすべてを引き受けた。まかせよ救う。そのまま救う。必ず救う」といつでもどこでも南無阿弥陀仏と私に寄り添いおはたらきです。ふっとため息がお念仏になる。ほっと安心、ありがたい。



町角伝道掲示板(沖・岩崎貴則様方)
7月のことば「ため息もでる 愚痴もでる 念仏もでる 同じ口から もつたいない」